

8220 7
56

中华百科经典全书

二六

雒启坤

张彦修

主编

青海人民出版社

第二十六卷目录

证治百问

饮食		(七九三五)
霍乱		(七九三七)
呕吐		(七九四〇)
翻胃		(七九四三)
噎膈		(七九四四)
痞满		(七九四七)
恶心		(七九四七)
吞酸		(七九四八)
嘈杂		(七九四九)
咳逆		(七九五〇)
暖气		(七九五二)
头痛		(七九五二)
头风		(七九五二)
心痛		(七九五四)
腹痛		(七九五七)
胁痛		(七九五八)
腰痛		(七九五九)
证治百问	卷之四	(七九六一)

眩运		(七九六一)
疝气		(七九六二)
脚气		(七九六四)
痛风		(七九六六)
斑疹		(七九六七)
疔风		(七九六九)
肠风脏毒		(七九七一)
脱肛		(七九七二)
痢		(七九七三)
癫狂		(七九七五)
惊悸怔忡健忘		(七九七七)
淋浊		(七九七八)
痉症		(七九八〇)
痿		(七九八二)
厥		(七九八三)
痹		(七九八五)
虚损		(七九八九)
癆瘵		(七九九二)
三消		(七九九六)

诸汗……………(七九九七)

梦遗滑精……………(七九九八)

医学传灯……………(八〇〇一)

点校说明……………(八〇〇二)

自叙……………(八〇〇三)

医学传灯 卷上……………(八〇〇三)

脾胃……………(八〇〇三)

伤风……………(八〇〇四)

中寒……………(八〇〇七)

暑热……………(八〇〇八)

暑厥……………(八〇〇九)

中喝……………(八〇〇九)

伏暑……………(八〇一〇)

注夏……………(八〇一〇)

湿……………(八〇一一)

燥……………(八〇一三)

火症……………(八〇一四)

风湿……………(八〇一五)

风湿……………(八〇一六)

湿温……………(八〇一六)

瘾疹……………(八〇一七)

痛风……………(八〇一七)

劳倦……………(八〇一八)

痰火……………(八〇一八)

咳嗽……………(八〇一九)

胸喘……………(八〇二〇)

青筋……………(八〇二二)

气怒……………(八〇二二)

中恶……………(八〇二二)

伤食……………(八〇二二)

医学传灯 卷下……………(八〇二四)

伤酒……………(八〇二四)

黄疸……………(八〇二五)

积聚癥瘕痞块……………(八〇二七)

癫狂……………(八〇二八)

痢症……………(八〇二九)

三消……………(八〇二九)

霍乱……………(八〇三一)

疟疾……………(八〇三一)

痢疾……………(八〇三四)

泄泻		(八〇三八)
疝气		(八〇四〇)
七疝症治		(八〇四一)
脚气		(八〇四三)
痿症		(八〇四四)
金匱翼		(八〇四六)
徐序		(八〇四六)
柏序		(八〇四六)
尤序		(八〇四七)
卷一		(八〇四七)
中风统论		(八〇四七)
卒中八法		(八〇四八)
拟五脏中风分治之方		(八〇五五)
中风失音不语		(八〇五六)
口眼歪斜		(八〇五七)
偏风		(八〇五七)
历节痛风		(八〇五九)
鹤膝风		(八〇六一)
风缓		(八〇六一)
风瘙痒		(八〇六二)

诸湿统论		(八〇六三)
瘟疫大法		(八〇六五)
卷二		(八〇六八)
痰饮统论		(八〇六八)
治痰七法		(八〇六九)
伤食		(八〇七六)
伤酒		(八〇七七)
不能食		(八〇七八)
谷劳		(八〇八〇)
食亦		(八〇八〇)
诸血统论		(八〇八一)
风热吐血		(八〇八二)
郁热失血		(八〇八二)
暑毒失血		(八〇八三)
蓄热吐血		(八〇八三)
气逆失血		(八〇八五)
劳伤吐血		(八〇八五)
阳虚失血		(八〇八六)
伤胃吐血		(八〇八六)
鼻衄		(八〇八七)

齿衄		(八〇八八)	肾劳		(八一〇二)
舌衄		(八〇八九)	脾劳		(八一〇三)
大衄		(八〇九〇)	风劳		(八一〇四)
大便下血统论		(八〇九〇)	热劳		(八一〇五)
结阴便血		(八〇九〇)	干血劳		(八一〇七)
湿热便血		(八〇九一)	传尸劳		(八一〇八)
中虚脱血		(八〇九二)	发热统论		(八一〇九)
肠痔下血		(八〇九二)	劳倦发热		(八一〇九)
溲血		(八〇九三)	火郁发热		(八一一〇)
卷三		(八〇九四)	血虚发热		(八一一〇)
膈噎反胃统论		(八〇九四)	阳浮发热		(八一一〇)
痰膈		(八〇九五)	痰积发热		(八一一一)
血膈		(八〇九五)	瘀血作热		(八一一一)
气膈		(八〇九七)	骨蒸热		(八一一一)
虫膈		(八〇九七)	食积酒毒发热		(八一一二)
杂疗方		(八〇九八)	分治脏腑上下血气诸热		(八一一二)
虚劳统论		(八〇九九)	恶寒		(八一一五)
虚劳营卫不足		(八一〇〇)	疟疾统论		(八一一六)
肺劳		(八一〇一)	风疟		(八一一八)
心劳		(八一〇一)	温疟		(八一一八)

水病	消渴统论	急黄	表邪发黄	虚黄	阴黄	女劳疸	酒疸	谷疸	黄疸	癰狂惊痫	尸疰	卷四	痰疰	虚疰	食疰	痰疰	牡疰	痺疰	湿疰
.....																			
(八一三七)	(八一三五)	(八一三五)	(八一三四)	(八一三四)	(八一三三)	(八一三二)	(八一三二)	(八一三〇)	(八一二九)	(八一二五)	(八一二二)	(八一二二)	(八一二二)	(八一二〇)	(八一二〇)	(八一二〇)	(八一一九)	(八一一九)	(八一一八)

米瘦	石瘕瘕聚	伏瘕	血积	气积	奔豚	息贲	痞气	伏梁	肥气	积聚统论	虚胀	实胀	寒胀	热胀	食胀	血胀	肝胀	脾胀	胀满统论
.....																			
(八一五〇)	(八一四九)	(八一四九)	(八一四九)	(八一四八)	(八一四八)	(八一四八)	(八一四八)	(八一四七)	(八一四七)	(八一四六)	(八一四六)	(八一四五)	(八一四五)	(八一四四)	(八一四三)	(八一四三)	(八一四二)	(八一四一)	(八一四〇)

肉 积	(八一五〇)
通治诸积	(八一五〇)
卷 五	(八一五一)

头痛统论	(八一五一)
风 头 痛	(八一五三)
热厥头痛	(八一五四)
湿热头痛	(八一五四)
寒湿头痛	(八一五五)
痰厥头痛	(八一五六)
肾虚头痛	(八一五七)
肝厥头痛	(八一五八)
食积头痛	(八一五八)
血虚头痛	(八一五八)
气虚头痛	(八一五九)
偏头痛	(八一六〇)
雷头风	(八一六〇)
大头痛	(八一六一)
项背痛	(八一六二)
臂 痛	(八一六二)
眩 晕	(八一六三)

风虚眩晕之方	(八一六三)
肝厥头晕之方	(八一六四)
下虚眩晕之方	(八一六四)
热风头眩之方	(八一六四)
耳病统论	(八一六五)
风 聋	(八一六五)
厥 聋	(八一六六)
肾虚耳聋	(八一六六)
脓耳盯耳	(八一六七)
鼻渊鼻塞	(八一六七)
舌胀舌出	(八一六九)
口 疮	(八一六九)
齿 痛	(八一七〇)
咽 喉	(八一七三)
客热咽痛	(八一七四)
客寒咽痛	(八一七五)
咽痛失音	(八一七六)
咽喉妨闷	(八一七六)
喉痹诸法	(八一七七)
卷 六	(八一八〇)

心痛统论		(八一八〇)
热厥心痛		(八一八一)
心寒痛		(八一八二)
心虚痛		(八一八三)
气刺心痛		(八一八四)
血瘀心痛		(八一八四)
蛔咬心痛		(八一八五)
痰积胃脘痛		(八一八六)
肝乘胃痛		(八一八六)
肾逆胃痛		(八一八六)
寒冷腹痛		(八一八七)
热痛		(八一八八)
冷热痛		(八一八九)
风痛		(八一八九)
食积痛		(八一九〇)
死血痛		(八一九一)
风虚腰痛		(八一九一)
湿冷腰痛		(八一九二)
湿热腰痛		(八一九三)
肾虚腰痛		(八一九三)

食积腰痛		(八一九四)
瘀血腰痛		(八一九四)
胁痛统论		(八一九五)
肝郁胁痛		(八一九五)
肝虚胁痛		(八一九六)
肾虚胸胁痛		(八一九七)
肝火胁痛		(八一九七)
污血胁痛		(八一九八)
息积		(八一九八)
四肢肿		(八一九九)
颤振		(八一九九)
脚气之源		(八二〇〇)
脚气痹挛		(八二〇〇)
脚气脚膝肿痛		(八二〇一)
脚气少腹不仁		(八二〇一)
脚气上气		(八二〇二)
脚气冲心		(八二〇二)
脚气肿满渐成水状		(八二〇三)
脚气差后复发		(八二〇三)
痹症统论		(八二〇四)

卷七

行痹		(八二〇四)
痛痹		(八二〇五)
著痹		(八二〇六)
热痹		(八二〇七)
肠痹		(八二〇七)
胞痹		(八二〇八)
臂痹		(八二〇八)
挛症		(八二〇九)
咳嗽统论		(八二一〇)
冷嗽		(八二一一)
热嗽		(八二一二)
郁热嗽		(八二一三)
饮气嗽		(八二一四)
食积咳嗽		(八二一五)
燥咳		(八二一六)
虚寒嗽		(八二一七)
肾咳		(八二一七)
咳嗽失音		(八二一八)
喘统论		(八二一九)

卷八

痰实肺闭		(八二一九)
水气乘肺		(八二二〇)
寒邪入肺		(八二二〇)
令火烁金		(八二二〇)
肾虚气逆		(八二二一)
血积肝伤		(八二二二)
呕吐统论		(八二二二)
咳嗽呕吐痰血饮食		(八二二七)
泄泻诸症统论		(八二二七)
湿泻		(八二二八)
寒泻		(八二二九)
热泻		(八二三〇)
久泄		(八二三〇)
肾泄		(八二三二)
飧泄		(八二三三)
痢疾治法统论		(八二三四)
分治痢症诸方		(八二三六)
梦遗精滑		(八二三九)
赤白浊		(八二四三)

便秘统论		(八二四四)
虚秘		(八二四四)
实秘		(八二四五)
风秘		(八二四六)
冷秘		(八二四六)
热秘		(八二四七)
气秘		(八二四七)
闭癰遗溺		(八二四七)
小便不通		(八二四八)
小便不禁		(八二五一)
交肠		(八二五一)
诸淋		(八二五二)
沙石林		(八二五二)
劳淋		(八二五四)
血淋		(八二五四)
气淋		(八二五六)
膏淋		(八二五六)
疝症统论		(八二五七)
诊候生死要法		(八二六二)
理虚元鉴		(八二六六)

柯序		(八二六六)
华序		(八二六六)
陈序		(八二六七)
原序		(八二六七)
卷上		(八二六八)
治虚脉法总括		(八二六八)
治虚脉法分类		(八二六八)
治虚三本		(八二六九)
治虚二统		(八二七〇)
阳虚三夺统于脾		(八二七〇)
阴虚之症统于肺		(八二七一)
虚症有六因		(八二七一)
心肾论		(八二七三)
心肾不交论		(八二七三)
心肾不交与劳嗽总论		(八二七三)
五交论		(八二七四)
吐血论		(八二七四)
红症初起治法		(八二七四)
劳嗽症论		(八二七五)
劳嗽初起治法		(八二七五)

干咳嗽论	(八二七六)
咳嗽痰中带血珠血丝	(八二七六)
论劳嗽吐血能治不能治大旨	(八二七六)
虚劳内热骨蒸论	(八二七六)
虚火伏火论	(八二七七)
遗精梦泄论	(八二七七)
肾痹论	(八二七八)
白浊白淫论	(八二七八)
女人虚劳	(八二七八)
尸症传尸劳等症	(八二七八)
虚劳当治其未成	(八二七九)
知节	(八二七九)
知防	(八二七九)
二护	(八二八〇)
三候	(八二八〇)

二守	(八二八〇)
三禁	(八二八〇)
四难	(八二八一)
劳伤非弱症	(八二八一)
呕吐见血非弱症	(八二八一)
伤寒见血非弱症	(八二八一)
肠风便血不同怯症	(八二八一)
阳虚阴症辨	(八二八二)
软懒症辨	(八二八二)
老年怯症难治说	(八二八三)
卷下	(八二八三)
虚劳本治方	(八二八三)
治虚药讹一十八辨	(八二八七)
柯跋	(八二九三)

医
学
类



饮食

或曰：饮食本养生之物，日用之所需者，如何至于伤食？如何至于发热如伤寒外感之状邪？

答曰：食积类伤寒，内伤辨要中已备。然而致病之因，因于劳伤中气，兼之失饥过饱，脾胃之元气先弱，斯时善于调理者，预知其劳烦失饥，只用薄粥调理。斯无内伤伤食发热之病矣。今人见大饥之后，则用大饱，不知已损之脾胃，焉能消化？所以停积于中，否满胀闷，噯腐呕酸，发热体倦，口苦舌燥，气急便结，诸病杂至矣。善治者，禁食两三日，以平和之药消导，或先用吐法，吐去在上痰涎，其气一伸，其食即传送小肠，病势顿减。不知者竟投通利下药，在大小肠之旧食先行，在胃脘之新食，因下而虚，反停滞于中脘，为害不浅，所以痞满愈增，壮热日盛如伤寒之状矣。治此当分析脾胃之元气有余不足，并辨其所伤之物，有生冷、炙博、膩滞、新久之分，总不外外感、暴怒、劳顿诸项，今定主治数方于后。

伤食兼外感脉症 气口之脉洪滑有力，为内伤饮食。若人迎之脉亦浮，必有外感寒邪。有外感，所以内伤之食愈不能消，则胸中胀闷，噯腐不清，肢体因倦，而寒热交作，头痛身热，一如伤寒之症。须内外兼治，表里皆和。

陈皮 神曲各一钱 防风三钱 羌活 苏叶 麦芽 豆豉各一钱 生姜三片 不时煎服。

陈皮、神曲、麦芽、豆豉，腐熟水谷以消饮；防风、苏叶、羌活，达表以疏风寒。如恶心，加半夏一钱五分，如作胀，加厚朴一钱。

外感已解，若内热而大便燥结，加厚朴一钱五分、山楂二钱，去羌、防、苏叶。毋论所伤生冷热物，以此为准。

伤食有余脉症 六脉有力，形神充厚，气口滑大，心胸痞闷而臌胀，三脘作痛，后出余气，此食填至阴，以后方消导。

山楂三钱 麦芽二钱 陈皮一钱五分 神曲一钱五分 厚朴 豆豉各一钱 槟榔五分 甘草二分 生姜三片 不时煎服。

消食无如顺气，陈皮、厚朴、槟榔顺气宽胸之峻剂也；消食先求腐熟，腐熟则小肠易于盛受，山楂、神曲、麦芽、

豆豉腐水谷之良药也。

恶心欲吐，以葱头三枚、豆豉五钱、生姜三片，煎二碗热饮探吐。食在上者，一涌而愈。食在下者，气得升提亦易化。

如先怒气而停食，或伤食而加气者，加青皮一钱、柴胡一钱。

里虚伤食脉症 平素中气或虚，虚则不易纳，纳则不易消，所以三脘否结不快，不思饮食，食亦无味，肢体困倦，乍寒乍热，腹泻腹痛，即些须之物亦不能消，六脉微弱，举按无神。以温补兼消导之剂和之。

白术二钱 陈皮 麦芽各一钱 半夏一钱 神曲一钱 砂仁 肉果各五分 炙草二分 姜二片

午前后煎服。

如中气素寒，加炮姜一钱、肉桂五分。如中脘素有湿痰，恶心，加半夏一钱五分、茯苓一钱。

三脘作痛，加山楂三钱，减术五分。如元气已虚，加人参一钱。

或曰：有伤食者，又有伤饮者，有伤冷热荤素者，不识有所分别否？

答曰：食为有形有质之物，若停滞不消则伤胃。饮为有形无质之物，若停留不运则伤脾。所以另叙一方于后，以便择用。至于荤素生冷炙煎，虽有分别，但一入胃中，则混淆难辨，冷热荤素，恐难确辨矣。即前药不偏寒热，从乎中治，俱无有碍者也。

伤饮脉症 饮即茶、汤、酒、水之类，或脾虚不运而结滞，或暴渴多饮而停留，或豪兴狂饮而沉醉，或僧家清客以茶茗自供，往往至后面黄肌瘦，脾泄中满，烦渴肿胀。若遇利疾，危者不少。六脉濡微细滑，举按无力，后方通治。

苡仁三钱 茯苓二钱 桑皮一钱五分 陈皮 猪苓 泽泻 苏叶各一钱 苍术五分 生姜一片

午前后煎服。

多饮伤脾，脾湿多病，治饮之法，不出上下表里分消，而苡仁、茯苓渗脾湿之药也；桑皮、苏叶表肺湿之药也；泽泻、猪苓去膀胱湿之药也；苍术、陈皮利肠胃湿之药也。

如脾虚泄泻，加白术一钱、肉果一钱，去苡仁、苏叶。

如肺虚，加人参一钱、白术一钱五分，去苡仁、苏叶、陈皮。

如水乘肺部，面浮作喘者，加杏仁一钱、苏子一钱五分，去猪苓、苏叶、苍术。

如四肢肿胀，加大腹皮、陈姜皮各一钱。

如伤酒恶心呕吐，加干姜三钱、半夏一钱五分、藿香一钱，去苍术、桑皮。

如常饮茶汤者，加白术三钱、苍术五分，去苡仁。

霍乱

或曰：霍乱吐泻，如何起于仓卒之间？

答曰：霍乱者，猝霍变乱之义也。人生以阴阳平和为贵，若阳争于外，阴争于内，或阴抗于外，阳扰于内，谓之阴阳错乱。彼此不和，一如仇敌，故仓卒之间，上下不通，其气闭而闷乱，绞肠腹痛，呕吐恶心，暴注下泄，危在顷刻。

或曰：霍乱发有先吐者，有先泻者，亦有不吐泻者，有转筋者，有呃逆厥冷者，有生有死，何以别之？

答曰：霍乱为暴疾，生死实在顷刻，不可不慎之于初也。然致病各有其因，总不外无形之暑湿所干，有形之痰食所遏，使三焦闭绝，内外不通，寒热交攻，阴阳戾乖，卒然而发。发时只上下相通，表里疏泄，其气松透不至闭闷。若上不得吐，不下得泄，其气滞于胸腹，为干霍乱者凶，所以饮汤、粥汤、热汤、冷水入口即死。宜通宜泻，忌塞忌补。急治之法，第一以生姜五钱、食盐二两，煎汤三五碗，候温顿饮探吐。吐后即用打砂之法，先刮颈项，次刮两臂，再刮二脚弯，其砂紫黑为妙。刮砂之后，最忌饮冷水，饮冷水者，后必变病。然须审明属寒、属热、属食、属痰，分为主治。第此症有内伤、外感，在经、在腑、在脏、虚实不同，临症细察，可以无虞也。

外感风寒暑热脉症 若夏秋之交，暑气未散，初交秋，偶因风邪遏于外，暑毒郁于中，则头痛、恶寒、身热，两关脉必沉弦或浮紧，使营卫不通，阴阳乖戾，肠胃不通。上闭则先胃痛而恶心，下闭则先腹痛而欲泻。若吐则胃痛，

泻则腹痛，是寒暑随吐泻而散也。若不能吐泻，急宜探吐刮砂，继服后方疏通表里。

干葛三钱 半夏一钱五分 陈皮一钱五分 厚朴 香茹 苏叶各一钱 藿香一钱五分 甘草二分 生姜三片
不时煎服。

如头痛关节痛，加防风一钱五分、羌活一钱。

如不能吐，加淡豆豉一钱五分、葱头一个。

如不能泻，加木香一钱五分，热服即泻。临初云：霍乱忌热，今用热服，此因寒凝所致，故邪亦宜审察，慎之。

如已曾吐泻，加砂仁一钱、茯苓一钱五分，去苏、茹。

若头痛已减，体热与吐泻已止，加茯苓一钱五分、扁豆三钱、砂仁一钱、泽泻一钱五分，去苏叶、香茹，减干葛二钱，以为调理。

以干葛、苏叶清风暑；若寒湿，再加羌、防，以治在表之邪；以香茹、藿香、生姜清暑湿，后增扁豆以和中。凡有呕吐泄泻，多属气滞痰凝，二陈汤为必用之药。

内伤湿暑痰饮食积脉症 长夏初秋，暑热用令，脾胃不和之时，宜谨节饮食，若任情违时，露坐凉亭，恣食生冷，以致疟、痢、霍乱诸症，先时伏于身中，稍有内伤外感，陡然而发，发则六脉沉伏，或沉滑，或浮弦急数不一，现症口腹闷胀，窘痛恶心。若得少缓，不能吐泻，甚至四肢厥逆，冷汗如雨，烦渴躁急而死。

陈皮三钱 藿香一钱五分 半夏一钱五分 豆豉三钱 厚朴 苍术各一钱 甘草二分 生姜三片
不时煎服。

如渴，加干姜二钱，去苍术。

如不泻，加香茹一钱五分、枳实一钱，去豉、苍术。

如伤食，加山楂三钱、神曲二钱。

凡食填至阴，以通利为主，前件俱通药也，不偏寒热香燥克伐，以便通治。